



願應寺たより

Vol.VI 令和7年2月

報恩講法要

真夏の暑さがうそのように、今年の冬は寒波が多く、あれだけ涼しくなるのを待ち望んでいましたが、今は春の訪れが待ちきれないこの頃です。

昨年の報恩講も無事に終えることができました。報恩講は宗祖親鸞聖人のご命日のご法要になります。今回もお勤めできましたこと、心より感謝申し上げます。ご参詣くださいました皆さま、誠にありがとうございました。



除夜の鐘

昨年末も毎年恒例の除夜の鐘撞きを行いました。毎年きて下さる方々に加え、年々子供たちのお友達や地域の子供たちが集まってくるようになり、嬉しい限りです。そして、年が明けてからは修正会をお勤めしました。修正会とは年の初めに阿弥陀如来の前で身を正し、改めて自分自身を見つめ直す新年の法要になります。今年も皆様にとって穏やかな一年でありますことを念じております。

合掌



○お齋の由来や意味は?
「お齋」とは、仏事の際に頂く食事のことと言います。もともとは、古代インドで、出家者が決まった時間（とき）に食事をすることを「齋」と称していました。これが後に転じて、仏事・法要などの時にいただく仮食の時間が「齋」に時の読みをあてて「とき」と呼びようになりました。

「お齋」は仏事法要後の単なる食事でも宴会でもありません。蓮如上人は「合掌して、如来・親鸞聖人の御用（おはたらき）としていただく」とおっしゃっています。仏祖のはたらきの中に生かされているということで、信心をたしかめることにむつながる、「お齋」は仏事のひとつなのです。

願應寺では年三回の法要で手作りのお齋をご用意しております。「ご参詣の際はぜひお齋も召し上がっていかれてはいかがでしょうか。



住職に聞いてみよう

○お齋の由来や意味は?

今日のことば
弱いものほど
相手を許すことができない
許すことは強さの証だ

モハトマ ガンディー

お寺のホームページができました!

願應寺 稲沢市

